

經營者 (個人) 伊藤徳松

資本金 三千元

事業 活動写真・映写

企業系統 ナシ

使用労働者 十八名 娼一五名

内 譯 説明者三、娼士二、味線二、女傭一、技師二、表才二、女給四、事務員三

三、労働者側

辛議参加労働者 十四名 娼一四

應接労働組合 関東映連従業員組合

辛議参加者中組合加入者 十四名

四、辛議発生原因

經營者伊藤徳松、該銀三月二百五十円、家賃を以て借付受ける。映連銀經營中、外近時財界、不況に伴って、相場者激減して、毎月約三百円内外、欠損を為す。アリ経営困難に陥り従業員

賃、給料(一ヶ月半分金庫八百二十三円)も未拂、俵ナリシカ。カエリ為メ従業員生活に困難を感じ六月九日別紙(一)如キ歎願書を提出し十一月午後十時ヨリ勞資會見シタルニ經營者、誠意ナントシテ翌十二月ヨリ罷業ヲ決行スルニ至レリ

五、要求事項並ニ交渉状況

九月提出シテ、嘆願書ニ関シ十一月午後十時ヨリ、飯内事務室ニ於テ勞資會見更ニ翌十二月午後六時ヨリ、今所ニ於テ會見従業員側ハ、関東映連従業員組合執行委員佐藤清次郎外九名ノ應接ヲ求メ前記嘆願書ニ對スル回答ヲ迫リタルニ、飯主ハ「四月分ノ半拂給料五百六十円ハ、本月二十日迄猶予サレタレト速ニタルニ従業員側ハ、飯主従前ノ欺瞞的態度ヨリ推シテ誠意アリシヲ認め、之レニ絶対信頼スルコト出来ス」ト強硬ニ主張シ折衝ヲ為シ午後八時至ルニ何等ノ妥協莫ク見サレ、ノミナラス従業員等全部迄涉リ参加シ居リ映写機サレ為メ觀察ハ全部退